

KODAK Color Control Patches
© The Tiffen Company, 2000
LICENSED PRODUCT

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

A

1 2 3 4 5 6

M

8

9 10

11

12

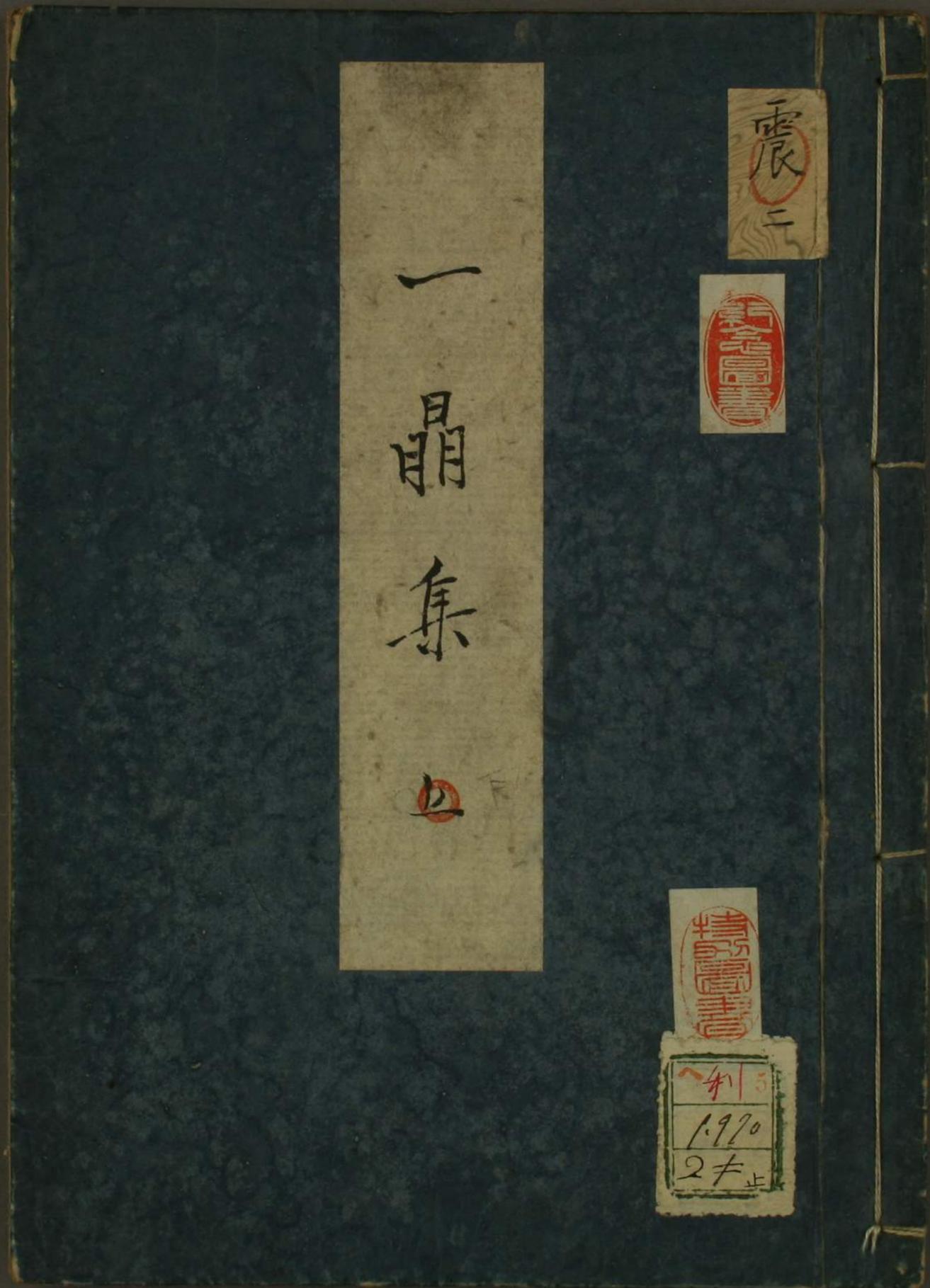
13

14

15

16 17 18 19

B



一期集

利

利
1.970
27

利

震辰二



1970
2



和の花より羽の蝶に一言借せ 一品
 糸海とほろ糸巾より糸
 初りいひ婢子きく糸媛 結て
 猫よりいひ酢の魚の血
 涼殿よりあま月の細流
 露雨より南より日



二番 館林

ずちこれねの輜刺のししきし 一寸

煮てても口しき 唾乃蛤 一寸

海物ハ碎ケミエトのおもて 龍巴 一寸

邪鬼乃又ルがぬ智の角 一寸

茶所ハ今もまじり音チ 一寸

永代ニまじりわりの板 一寸

白紙(キ) 陰白髪(キ)の屑(キ) 巴 一寸

あしきと物(キ)が凡と云ん 一寸

宿(金)ハのまじり宿多の西羽(金) 一寸

筆(金)ハかじりおまき 菴室 一寸

日(金)のまじりまじり苦(金)子(金) 一寸

はまじりておんらまきの物 一寸

浪(金)ハまじりまじりまじり 一寸

やまじりまじりまじり 一寸

桃園(金)ハ詩(金)と踏(金)ハ 一寸

ヨウノエヒスラ

さつきはくひの夷密戎杖

月つらりの道比のね久み

らまゝのしほりり初夢

十二支のつゆのせりり音の急 一頁

あらのよまゝのしよみ故時節

籠籠はるぬきね女の乱髪

鳥鳥後後あまきしきりり空を舞

魂魂くくまきあひ酒の圃のうたに

宵の月あやあ白月の夜

ふいふし不二と自通神は母

ゆりといふぐさ死と生うら

人のるがききさの延らこ

後後しぬきさ成成こむり

は原水のほろ々花の白地

ああくみハ木の芽もたに若妻

いくさのなり具をす
 雨アそそを傘を傘をのこす
 盲オクラと月の胸のあらす
 振まるる包の袋のあらす
 是はいいここままうう粟のあらす
 慈今寝るるるいいりり
 下のおお刺しももああららす
 又又一一

月今てていいののううななままよよ笠をたた一一晶
 根今ののままいいかかうう水をかかええよよ葛
 雨今ののままいいかかううののああららす
 炉今ののああららすす香をああららす
 物今見るるるいいままののああららす
 右今ののああららす

つぎはまを渡りてはもりの日中ね 三番 一乳

堂のまかよふ茶室の大佛

剝かに能く清き城のたか

鳥 けりうらうらと合ふふ陽

五月雨うすきうらうらと合ふふ陽

灌 ツラミ うらうらと合ふふ陽

後士のトス目ありい ツラミ 合ふふ陽

鈴 ニク 羊 ク ぬ ク 涙の朱 ク の ク 拭

眉 ヒビ の ツル 白 ク 粉 ク 溜 ク の ク 割

妹 ク 宵 ク セ ク リ ク 一 ク 年 ク 一 ク 夜 ク 離

地 ク 屏 ク の ク 清 ク け ク 新 ク け ク 月 ク 夜 ク

羅 ク う ク き ク 心 ク 物 ク け ク の ク 丸

月 ク や ク 地 ク 白 ク 空 ク 夕 ク 暮 ク 海 ク 竹 ク 風 ク 一 ク 乳

笑 ク 入 ク 夢 ク の ク 丸 ク の ク あり ク の ク 意 ク 希

桐 ク と ク 夜 ク ス ク 暮 ク う ク 葛 ク 這 ク 上

魚の音より鰯のり声
賓客とそりんるの酒の七色
まゝ一とまゝ一涼ム湯揚リ
おろしスラム痺しをよよせて
名所と前のはと金の店
定家のアキカ暖さどぐらり梅
よ魚イサの角をとん鹿
羽の鳴るるにたてよミ

新形りんの身ぶらうん
富士指寄りアサ雷の裏
火ヒの洞アの窓
織オリの身し念ネンのさるサ桑ミ和ワを
綿ワタのりらふウ敷シ矢ヤのハな
中氷月や洞アスかつた
魔マの肌と刺シスス終ハヤシのん
不動フドウの利量リリヤウの身ミふたのフタ劔ケン

居 籓つゝ井戸かおらうらむ

いけ 秋風散る小枝と雪 一晶

らと河こころり名月

窓あつら鏡か向ふ白むで

又 空を習つ筆下の働

歎乃虎より沼の砂乃と

川 とうきりまたいふあはれ

冬^う枯乃よやうが底海侘て 下妻 和行

これ春を琴乃らまけをさす

恋よりよ音のてふのさうな合と

清乃セツとこいまきぬく

眠^えまうく月乃あが露の舟渡

今^まらよまりののね草のかざ

袂の地をね借り^りの稲^い場

川 扱おくをう純の怪

坂下^の川^の比^の戯^の尺^の方^の反
行^の小^のま^のれ^の場^の水^のの^の流^のの^のれ
放^のれ^のら^のし^のた^のか^のつ^のま^のの^の筋
理^のと^の非^のの^のあ^のる^のふ^のは^の世^のの^の取^の作^の
舟^のり^のう^のま^のつ^のけ^の接^のの^の物^の
高^のの^のた^のあ^のる^の神^のの^の屯^のし^の
柳^のの^のる^の怪^のの^の糸^のの^のの^の

と^のあ^のい^のふ^のか^の橋^のつ^のの^の碑^のの^のか
文^のと^の押^のの^のや^のの^の秋^のの^の水^のの^の音^の
漣^のの^の輪^のも^の集^のの^のの^の
孤^のの^のい^のの^のる^のの^のる^のの^の月^の
か^のの^の息^のの^の杖^のの^のの^のま^のの^の河^のの^の原^の
威^のの^の境^のの^のの^の実^のの^のの^の入^のの^の口^の
遠州掛川
嘯翠

窮乃曰おつゝるゑさ所
ひかろ婚のうき雛の市
業卒の詞をぬくとゑの花
梅ろくろねいハおきく罪
千刻キキの佛の音ゴウまき
四民四息の雨ふるま
各月のふがうりふのふ月
吾がききのぬニ蘭ナリの遠ナリ笑

藤紅舟をたてたおのこゑも
さくたえさして能くおま
井ドウこころを殺しておま
けやまいおゝ笑もむじし

美陽たぐい美の言とけり
一品
はるるるるるるるるる
たぐいあくのあひ

わつとぬいっこのあしき

秋の音もあつらへるあま

何のきこしうらなを

石^{イシ}ころも崇^{タカ}の神^{カミ} 小沢氏 長岡

花^{ハナ}屋^ヤの後のきれえり

窠^ネのあそびしゑの部^ベ入^イ

然^{シカ}のまきく^ク流^リぬの地^チ懼^ク

古井戸^{コイ}のあつと^ツ猫^{ネコ}

從^セ者^ブが正^マ沙^サも主^ヌの夜^ヨ

百里^{ヒヤク}と^トあつた^ツの^ノ心^{ココロ}み^ミ

いりまて^マあつた^ツあ^アの^ノ城^{シロ}

商人^{シヤ}の^ノ念^{ネン}の^ノ袖^{スベテ}き

溜^ルり^リあつた^ツあ^アの^ノ心^{ココロ}

へ^ヘら^ラあ^アつた^ツあ^アの^ノ限^カ

怪^カの^ノあ^アつた^ツあ^アの^ノ心^{ココロ}

朝鮮人のきか乃とや
羽子板の信のあはれかたのほ
ろろとぬらひの空月
ては月風中を送て目づ
る候しつゝは衣の温
かさかたに減ぬきあはれ候
端鳩のつれづれとて

筆^{ヒツ}たつとつゝのぬや派一品
ぬや^{ニヤ}は候し候のちの
氷のまよとあはれあはれ
梅^{ウメ}乃^ノあはれあはれ梅^{ウメ}乃^ノ
ニヤのあはれあはれ
あはれあはれあはれ

あまのついでにのちのち
あまのついでにのちのち
あまのついでにのちのち
あまのついでにのちのち
あまのついでにのちのち
あまのついでにのちのち
あまのついでにのちのち
あまのついでにのちのち
あまのついでにのちのち
あまのついでにのちのち

竜産

あまのついでにのちのち
あまのついでにのちのち
あまのついでにのちのち
あまのついでにのちのち
あまのついでにのちのち
あまのついでにのちのち
あまのついでにのちのち
あまのついでにのちのち
あまのついでにのちのち
あまのついでにのちのち

下

冷^全くもまふあぬるの節
冷^全の^{キハミ} 表
多^全くの^{アノコト} 入
平家うみく 野々 稚
た^まり^き 物のおよらよ
う^まり^き ふま^り 文^の 表
童雀

十^ロ里の^{ワカ} 自^カ 祿^カ 約
書^カ 小^カ 妻^の け^り
眉^カ 作^り り^き 比^の 丸^カ
菊^の 葉^の 子^に 名^と 揚^る 寺
つ^まふ^は 浜^の 和^睦 と 海^を 望^し
山^の け^り 伸^ス 亭^の 永^如
那^の け^り 伸^ス 亭^の 永^如
い^い け^り 伸^ス 亭^の 永^如

あつたまはらりまのりか
子陽

ふゆのゆのゆのきんか
白

ゆるとしてあきさのうり可
竹

小綴り細りかあつた
陽

寺の奉加かよ縁念佛
竹

お付アまうむなほ深
陽

あつしりらるるあつた
竹

あつたあつたあつたあつた
陽

あつたあつたあつたあつた
竹

あつたあつたあつたあつた
陽

あつたあつたあつたあつた
竹

あつたあつたあつたあつた
陽

あつたあつたあつたあつた
竹

あつたあつたあつたあつた
陽

あつたあつたあつたあつた
白

あつたあつたあつたあつた
竹

下向ししむの御座
 虫あり大い魚の團かろふ
 まふし遊ちりの夜し
 ながくあつたまをたふす
 州知しつたまをたふす
 ぼくしつたまをたふす
 ぼくしつたまをたふす

陽 竹 陽 竹 陽 竹 陽

新うつたまをたふす
 まふし遊ちりの夜し
 ながくあつたまをたふす
 州知しつたまをたふす
 ぼくしつたまをたふす
 ぼくしつたまをたふす

陽 竹 陽 竹 陽 竹 陽

皇朝正統年
法集冊子
御書卷之二

卷之二

皇朝正統年
法集冊子
御書卷之二

卷之二

